



KENTO

北大阪健康医療都市

健 都

のまちづくりの概要

吹田市
健康医療部



吹田市のご紹介

位置：吹田市は、大阪府の北部に位置。
南は大阪市、西は豊中市に接する。

人口：約37万人

面積：約36km²

主な特性：

① 交通アクセスに優れたまち

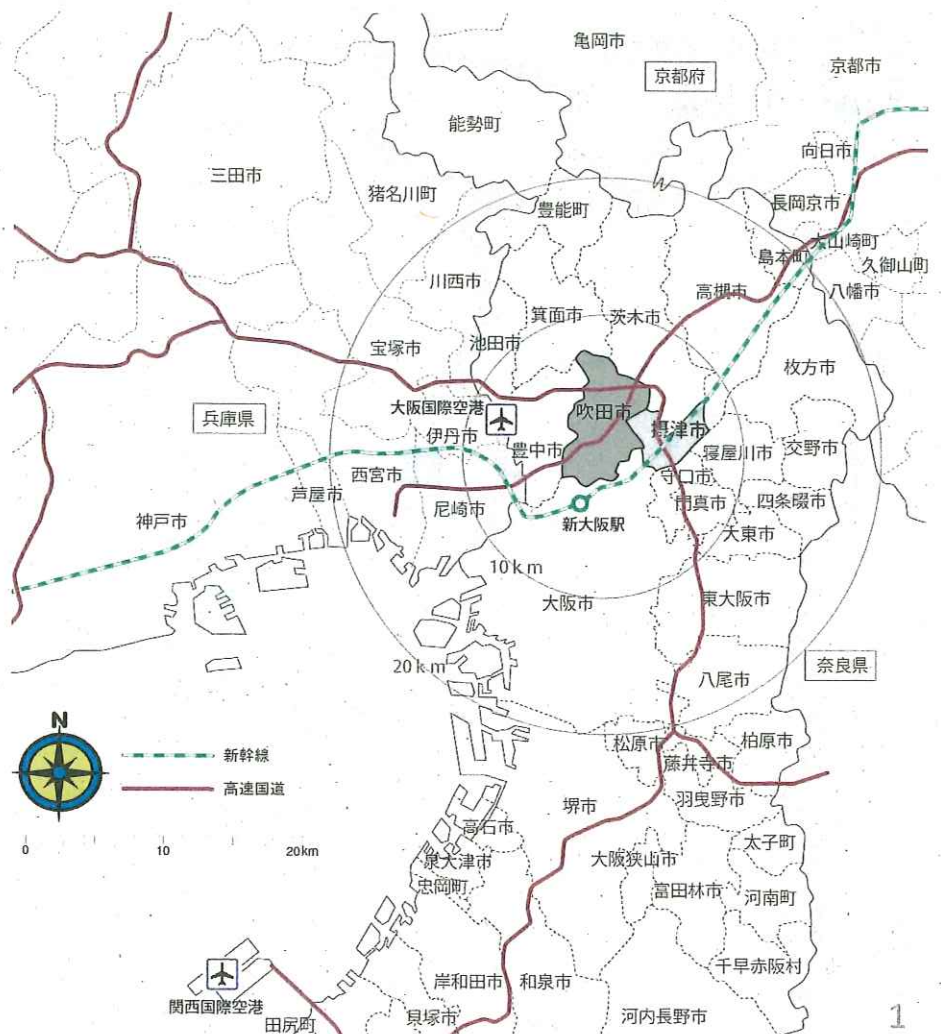
- 市内15の鉄道駅や、市域から10km圏内に位置する様々な交通機関により、大阪、京都、神戸などの関西主要都市のほか、東京をはじめとする国内主要都市へもアクセス容易。

② 充実した文化・学術・研究環境

- 万博記念公園、大阪大学をはじめ5つの大学、国立民族学博物館、市立の博物館などが立地。

③ 充実した医療環境

- 国立循環器病研究センター、大阪大学医学部附属病院をはじめ、医療機関が数多く立地。



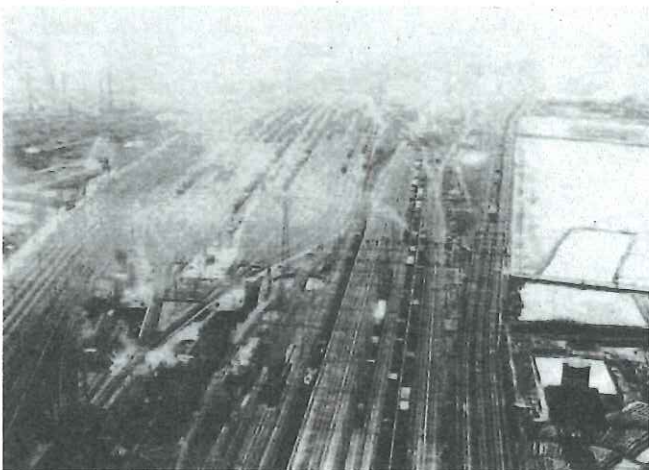
健都のまちづくりについて

2

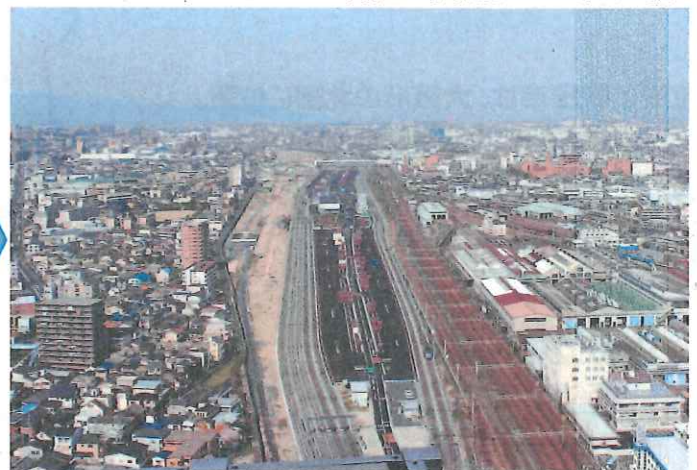
吹田操車場跡地の歴史



吹田操車場操業当時



現在の貨物ターミナル駅



- T12.7 吹田操車場 操業開始 ※「日本三大操車場」「東洋一の操車場」
- S59.2 吹田操車場 機能廃止 ※モータリゼーションによる役割縮小
- S62.4 国鉄 分割・民営化 → 梅田貨物駅機能を吹田操車場跡地に全面移転する計画
- H9.6 移転機能の縮小(1/2)、まちづくり用地拡大の申入れ
- H11.1 梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画に関する基本協定書・同確認書を締結
- H18.2 吹田貨物ターミナル駅(仮称)建設事業の着手合意協定書を締結
経済界、学識経験者、行政が中心となる「吹田操車場跡地まちづくり計画委員会」設置
- H19.11 吹田操車場跡地地区(仮称)の整備に関する基本協定書を締結

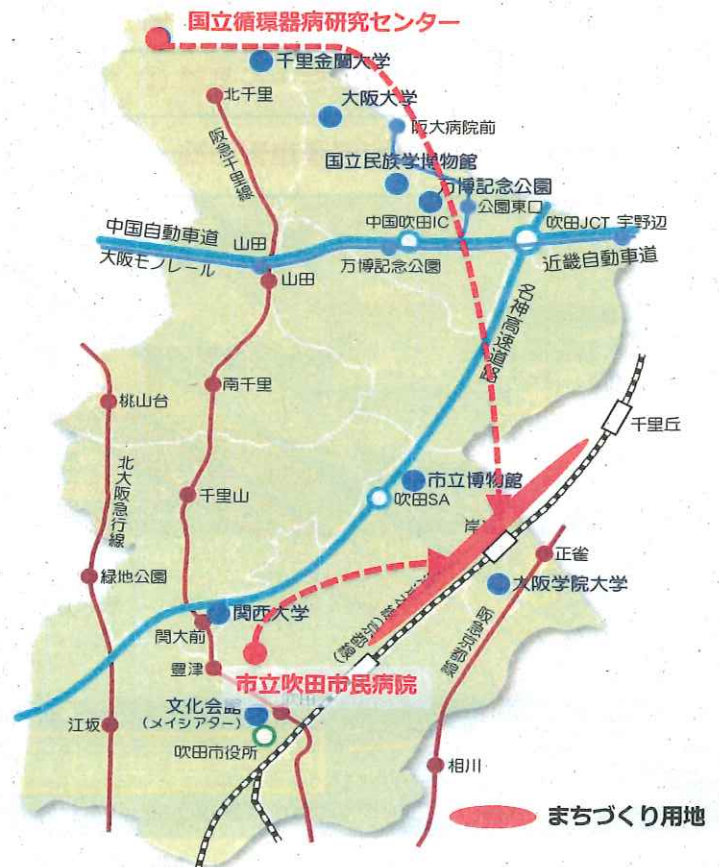
吹田操車場跡地の全景



「吹田操車場跡地」から「北大阪健康医療都市（健都）」へ

まちづくりの経緯と概要

- 平成20年にまちづくりの全体構想を策定（「緑と水につつまれた健康・教育創生拠点」の創出）
- 「吹田操車場跡地まちづくりアイデア募集コンペ」実施
- 平成21年から**国立循環器病研究センターの移転誘致**を開始。平成25年6月11日に、**北大阪健康医療都市への移転を決定。**
- **同地へ市立吹田市民病院の移転や医療関連企業・研究機関を誘致・集積し、国際級の医療クラスター（複合医療産業拠点）を形成する等、「健康・医療」のまちづくりを推進。**



まちのコンセプト

「健康・医療のまちづくり」 基本方針 (平成26年5月 策定)

国立循環器病研究センターの吹田操車場跡地への移転等を見据え、医療費の多くを占め、重度の要介護状態に直結しやすい循環器病について、予防医療や健康づくりの推進、市民参加型の取組のモデルの創成など、様々な取組を推進。

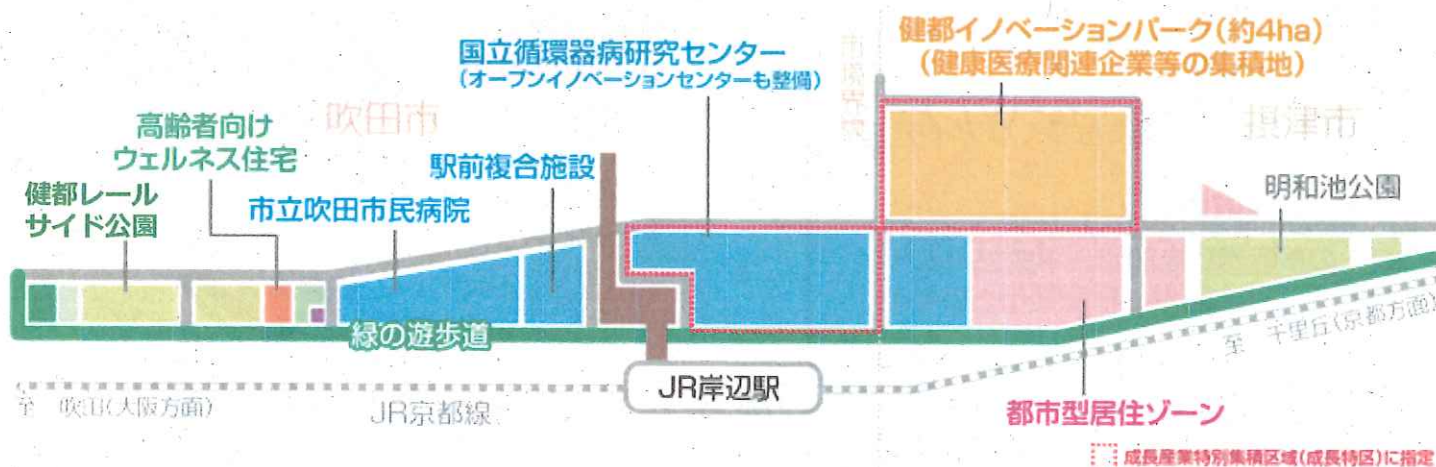
国立循環器病研究センターを核とした 医療クラスター形成に関する基本的な考え方 (平成26年5月 医療クラスター形成会議で合意)

- ① 地域に密着しつつ、ナショナルセンターとしてのミッションである「循環器病の予防と制圧」の拠点を目指す。
- ② オープンイノベーションにより、最先端医療・医療技術の開発で世界をリードする。
- ③ オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点 (医療クラスター)を形成する。

北大阪健康医療都市 (健都) のアウトライン

- 健都は、各ゾーンにおいて「健康・医療」の要素を散りばめた事業を展開。
- 相互に協力・連携・支援することで、まち全体として、相乗的な付加価値が向上。

< JR東海道本線沿線で、総計約30haの大規模プロジェクト >



2018年度 (H30)

2019年度 (H31~R1)

2020年度 (R2)

2021年度 (R3)

2022年度 (R4)

スケジュール

●2018春
レールサイド公園
Open

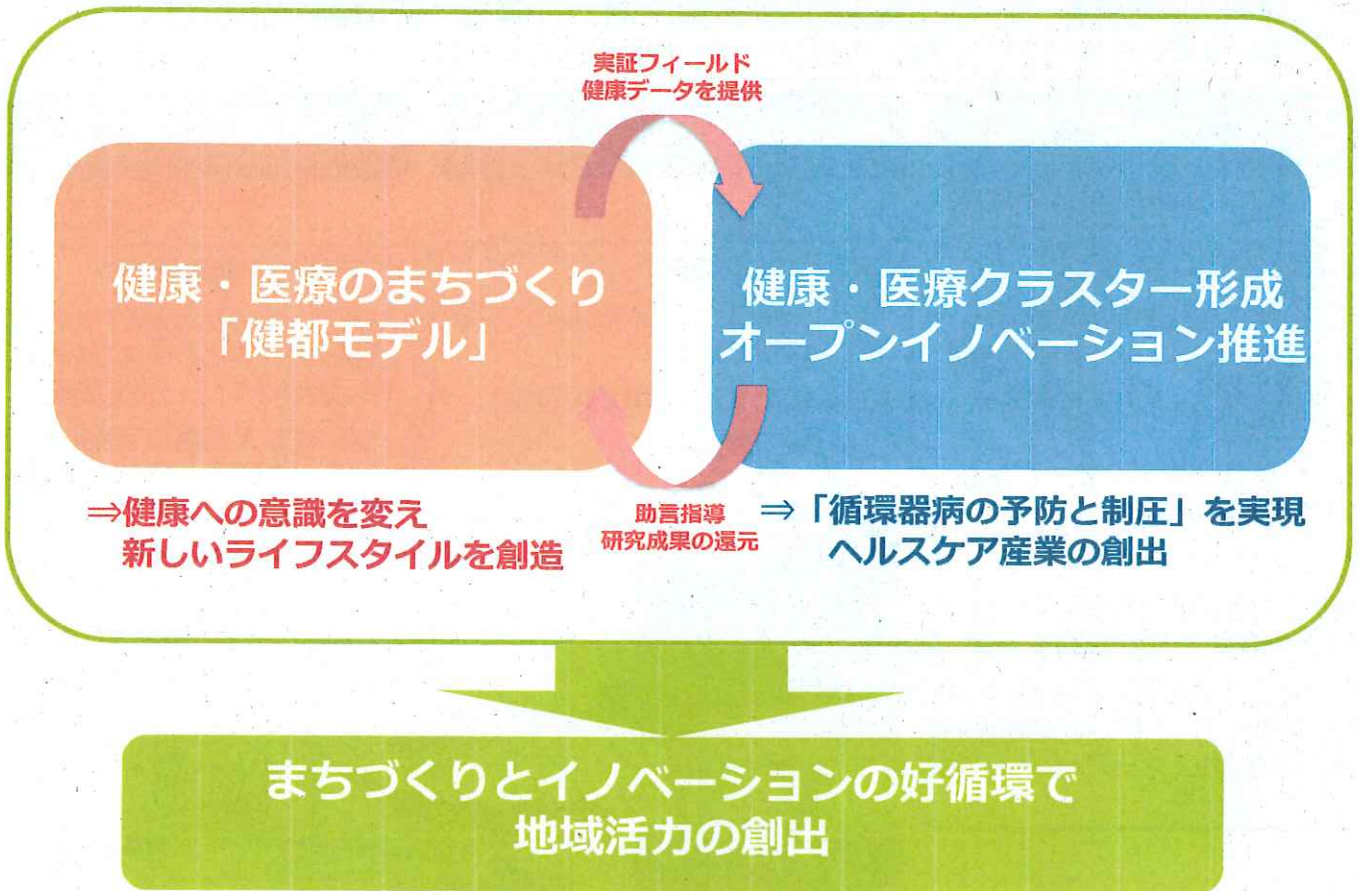
●2018.11~12
市民病院Open
駅ビルOpen

●2019.7
国循Open

●2019.12
ウェル初住宅
順次事業開始

●2020.11
ライブラリ
Open

●2022年春以降
ニプロOpen
アライアンス棟Open
(健栄研移転)



健康・医療クラスター形成
オープンイノベーション推進

健都における拠点形成

- 「健康と医療」をキーワードに、先端的な研究開発を行う企業等の研究施設を集積させ、国循・健栄研を中心とする健康・医療クラスターの形成を図る。

オープンイノベーションセンター(OIC)

【国循との共同研究】
※ 国循内のラボに入居

<オープンイノベーションラボ>

- ・国循と共同研究を実施する企業・研究機関等との共同研究室を設置し、研究支援のための環境を整備(18ユニット)
- ・ラボを活用する共同研究を産学連携本部が協力をサポート

<サイエンスカフェ>

- ・多様な企業・研究機関と研究者等の交流を促進する場・機会を確保
- ・5つのセミナー室を配置し、様々な用途の会議・ミーティングの実施可能な環境を整備し、オープンイノベーションをより一層促進

健都イノベーションパーク

【市有地の売却による進出】
※ 国循との連携可能性のある企業

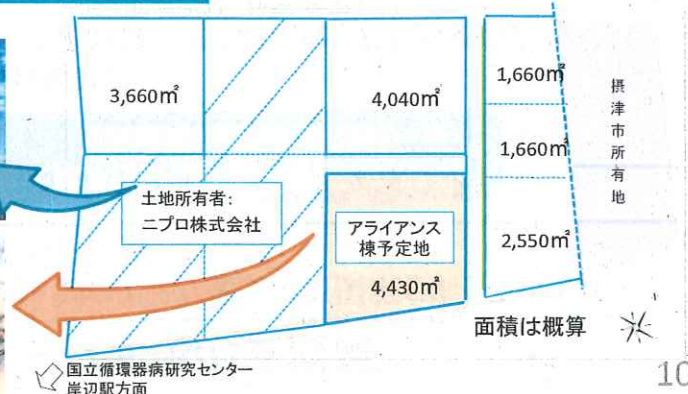
<フラッグシップ企業>

- ・フラッグシップとなる企業として「ニプロ株式会社」を選定
(工事着工：2020年夏頃予定)

<その他の画地>

- ・今後、随時 募集予定

NIPRO (完成予想図)



アライアンス棟 (国立健康・栄養研究所)

【民設民営のビルに入居】
※ スタートアップ企業の利用も可能

<アライアンス棟の機能>

- ・健栄研のほか、企業や大学の産学連携の窓口などの様々な機能が入居可能なオフィス・ラボを整備
- ・来訪者・入居者の交流によるクラスター形成が高度化する機能を確保

健都イノベーションパーク進出の支援策

- 大阪府をはじめ、関係自治体が連携した健都イノベーションパーク進出の支援策を構ることにより、国循・健栄研を中心とする健康・医療クラスターの形成を図る。

地域未来投資促進法に基づく支援措置

<主な支援措置>

課税の特例、金融支援、専門的アドバイス、規制特例

<課税の特例>

- ・設備投資に対する国の課税の特例措置。
- ・機械装置、器具備品については、**特別償却 40%、税額控除 4%**など。



大阪府HP

大阪府成長産業特別集積税制 (大阪府成長特区税制)

<税制優遇>

- ・大阪府税(法人府民税、法人事業税及び不動産取得税)が最大で**ゼロ**。
- ・うち、法人府民税・法人事業税の軽減措置は、最長10年間続き、最大で**5年間ゼロ+5年間1/2**。



大阪府HP

地方拠点強化税制

<課税の特例>

- ・本社機能(事務所・研究所・研修所)を移転・拡充する企業の**特定業務施設**の取得価額に対する法人税額等の**特別償却又は税額控除**
(例:拡充型は特別償却15%、税額控除4%)
- ・新たに雇い入れる従業員数に応じた**税額控除**など。



大阪府HP

摂津市企業立地等奨励金制度

<奨励金の交付>

- ・建物及び償却資産にかかる**固定資産税の1/2相当額(上限額:1億円/年度)**を奨励金として、固定資産税が初めて課税される年度から**5年度間**交付。
- ・アライアンス棟に関しては、法人の業種(不動産賃貸借)及び自己の事業に供するかは問わない。



摂津市HP

産官学連携を推進する「アライアンス棟」(JR西日本不動産開発、KRPほか)

- 国立健康・栄養研究所のほか、企業や大学の産学連携の窓口などの様々な機関が入居可能な、ハード・ソフト両面において複合的な機能を有する「アライアンス棟」を民設民営で整備。
- 貸オフィス・ラボを整備するほか、入居者や来訪者が集うことで技術や知識が交流し、医療クラスターの形成が、より高度化する施設の整備を予定。(R4年(2022)年春ごろ操業開始予定)

※ 定期借地期間の開始から30年間、事業実施者が吹田市に支払う土地の年額貸付料を2分の1に減額。整備・運営事業者は、その分を健栄研の入居後、健栄研が事業実施者に支払うべき賃料等の軽減のために活用。

<主たる機能(予定)>

(1) オープンイノベーションを加速する「Turnkey Lab」

- ・ 貸ラボ・オフィスの一部を実験機器・日常業務サービス付きシェアラボ「Turnkey Lab」(約900平方メートル)として整備。
- ・ 異業種からの参入や起業によるスタートアップ段階の企業・研究者が、最小単位(ベンチ貸し)・最短期間(1日単位)から利用可能。常駐スタッフを配置し、日常業務をサポート。

(2) 健都から国内外へと広がる広域ネットワークとの連携

- ・ 構成法人が有する類似施設の運営経験を活かし、近畿圏をはじめ国内外の広域ネットワークと連携可能な事業を実施。

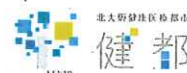
(3) 駅前複合施設との連携

- ・ 市民へ研究成果を還元する場(実証フィールド)として、代表法人が運営する駅前複合施設(VIERRA岸辺健都)との連携事業を実施。
- ・ リビングラボの実施・連携を通じて、市民との共創によるヘルスケア事業等の実証の機会を創出。



12

国立循環器病研究センター(新センター)



- 循環器病克服のための拠点として設置された、「循環器」を対象とする唯一の高度専門医療研究センター(ナショナルセンター)。 ※我が国2番目、西日本唯一
- 「病院」「研究所」「研究開発基盤センター」の3部門からなり、これら3部門を一体として運営。
- **令和元年(2019年)7月** 新センター運用開始

<新センター(イメージ)>

- ・ 病床数: 550床
- ・ 階数: 地上10階、塔屋2階、地下2階



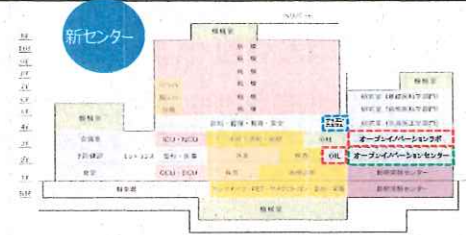
オープンイノベーションセンターの概要

移転の基本理念

- ① 地域に密着しつつ、ナショナルセンターとしてのミッションである「循環器病の予防と制圧」の拠点を旨とする。
- ② オープンイノベーションにより、最先端医療・医療技術の開発で世界をリードする。
- ③ オープンイノベーションに連動したエリアの産業活性化により、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）を形成する。

革新的な技術・製品を生み出すためには、企業・大学・研究機関の知識・技術の結集が必要

国循内の“ひとつ屋根の下に”
企業等との共同研究拠点を
設置



3つの機能

運営組織

オープン
イノベーション
センター

- ▶ オープンイノベーションを強力に推進するための組織を新設（研究基盤開発センターを発展改組）
- ▶ オープンイノベーションセンター内に設置する産学連携本部を中心に、事業化推進や知的財産の活用・管理を戦略的に実施

研究拠点

オープン
イノベーション
ラボ

- ▶ 国循と共同研究を実施する企業・研究機関等との共同研究室を設置し、研究支援のための環境を整備（18ユニット・基本数）
- ▶ ラボを活用する共同研究を産学連携本部が強力にサポート（コーディネーターの配置・国循の持つネットワークの活用 など）

交流拠点

サイエンス
カフェ

- ▶ 多様な企業・研究機関との研究者等の交流を促進する場と機会（セミナー等を国循が開催）を確保し、オープンイノベーションを実践
- ▶ 5つのセミナー室を配置し、様々な用途の会議・ミーティングの実施可能な環境を整備し、オープンイノベーションをより一層促進

健康・医療のまちづくり
「健都モデル」

住まい × 予防

高齢者向けウェルネス住宅（パナソニックホームズ株式会社ほか）



- 居住者が、できる限り健康の保持・増進に努め、生きがいを持ち、自分らしく、安心安全で豊かな生活を送ることができるという基本的な考え方の下、超高齢化社会における住宅環境のモデルケースとして整備。
- ①生活習慣病予防や介護予防、②医療・介護の一体的な提供、③健都内外との連携による付加価値といった3つの機能を有する。（令和元年(2019年)12月以降 順次事業開始予定）。

パナソニックのエイジフリー × Panasonic × 国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

安心のケア
(認知症、重度者対応)

最先端のIoT技術

高度かつ専門的な医療技術

医学的エビデンスに基づいた認知機能低下の早期発見を
目指した共同研究を開始

<想定サービス（予定）>

- ・ 6,7階：一般賃貸（42戸）
- ・ 4,5階：サ高住（52戸）
- ・ 3階：小規模多機能施設
交流施設
認知症デイサービス
- ・ 2階：診療所、病児保育
小規模保育、交流施設
児童発達支援施設等
- ・ 1階：物販店、駐車場



公園 × 図書館 × 健康

健都レールサイド公園（健康増進広場）



○ 健康増進広場は、市民自ら予防医療を实践できる場として、国循・市民病院の監修の下、多くの健康遊具を配置するとともに、複数のウォーキングコースを設置（平成30年(2018年)春 供用開始）。

※ 令和2年(2020年)4月から指定管理者による管理運営を開始予定

駅広のびんせ



いざという時は“やまど”に。

もしもの時も安心!



避難所生活に、すこしでも快適を!



災害時は、防災シェルターに避難あり。



災害時、水の確保が重要です!



なんと地下には、約19,000人の3日分の水が貯蔵されています。



空気に合わせて、よりいっしょ!



多彩な健康遊具がいっぱい!



カタダを動かして、楽しい♪



ウォーキングにも最適!



自治のペースで、健康に!

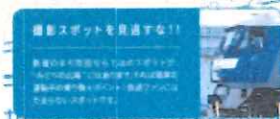


痛みをこらえて、いざ健康へ!

春には、子猫の箱が保管ります!



健康増進広場の新しいライブラリー。読書、健康、ウォーキングの場として、市民のみなさんに活用してほしいです。



健康増進広場

「メディカルウォーキングコース」

Medical walking course

国立循環器病研究センター

市立吹田市民病院

自分のペースで、歩いて、楽しんで、さあ健康へ。

国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院が協力・監修している「メディカルウォーキングコース」年齢や体力にに応じて、楽しく歩けるコースがいろいろあるので、無理せず自分にあったウォーキングが楽しめます。ウォーキングは適切な方法で長期間続けることで、循環器病の予防につながります。



アップダウン! 体力向上コース

1周: 約420m 運動負荷: 高

スロープだけでなく階段のより下りもある、体力向上を重視したコースです。自分の体力にあわせて楽しみましょう。コース上の赤色のマーカーにそって歩きましょう。

はじめよう! 健康維持コース

1周: 約200m 運動負荷: 中

スロープによるアップダウン1か所を含むコースです。スロープをさげ、平均な速のみ歩くこともできます。コース上の青色のマーカーにそって歩きましょう。コース脇には、足つぼ器具や、けんけんマットもあります。

ぐるっと! パークコース

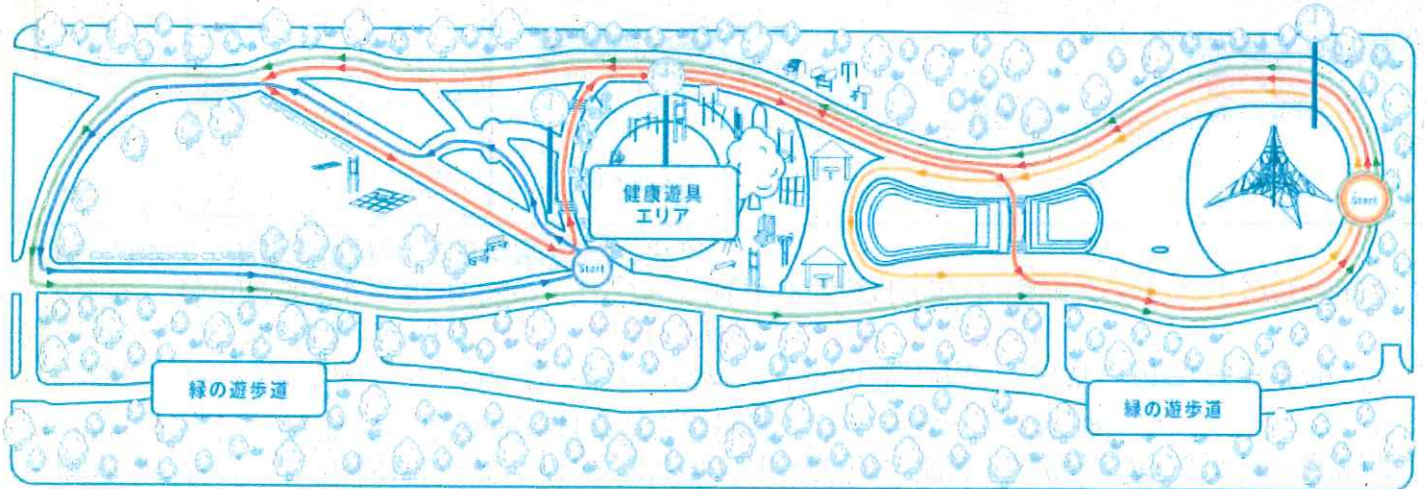
1周: 約490m 運動負荷: 低

みどりの広場から健康増進広場まで、緑豊かな公園の外周を回るコースです。コース上の緑色のマーカーにそって歩きましょう。

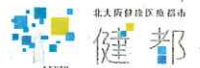
ゆったり! マイペースコース

1周: 約200m 運動負荷: 低

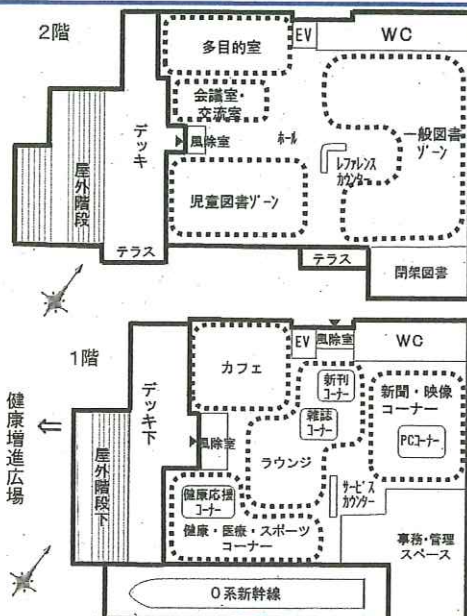
路面が青色(地上の黄色)のコースです。ゆっくり自分のペースで歩きたい人向けです。車椅子利用者や体力に自信のない人も利用されますので、周囲をよく見ながら歩きましょう。



健都レールサイド公園 (健都ライブラリー)



- 健都ライブラリーは、①健都レールサイド公園における積極的かつ継続的な健康づくりを支援する拠点、②多世代が身近に利用でき、図書館機能を更に多機能化させた施設として整備。
- 健康に、①気づき ②楽しみ ③学べる の3つの柱による多世代が集い、交流し、健康寿命延伸（生涯活躍）につながる場を目指す（令和2年(2020年)11月オープン予定）。
- 公園と一体的な運営による、民間のノウハウを生かした運動プログラムや健康づくりイベントの継続的な実施に向けて、**指定管理者による管理運営**を予定。



※今後変更あり


緑の遊歩道

まちづくり・イノベーション の好循環


まちづくり・イノベーションの好循環



アカデミア (学)

 国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center



 国立健康・栄養研究所
National Institute of Health and Nutrition



企業 (産)

新サービス
いち早くお試し



実証
フィールド



まちぐるみの
リビングラボ

マーケティング
データ取得



まちづくり・行政
(官・市民)



データ取得
エビデンス集積

新たな予防・
健康プログラム

予防医療
健康づくりの実践

